

| 学年 | コース | 教科 | 科目 | 類型 | 必・選 | 単位数 |
|----|------|----|----|----|-----|-----|
| 3 | 特進一貫 | 国語 | 古典 | 理系 | 必修 | 3 |

講座のねらい

これまでに培われた古典の基礎力をさらに発展させて、応用力・読解力を身につけていきます。特に難関国公立大学の二次入試、あるいはセンター試験を念頭に置き、それらに対応すべく、物語・随筆・日記・和歌・史伝など多くのジャンルの文章に触れて、実践力を習得していきます。また、古典解釈を深めていく上で、日本文化の特質を感じ取り、人生観を深める一助としていきます。

使用教材及び問題集

教科書 「高等学校 古典B 古文編」 第一学習社
「高等学校 古典B 漢文編」 第一学習社
便覧 「新版三訂 カラー版新国語便覧」 第一学習社
文法副教材 「新修古典文法 二訂版」 京都書房
漢文副教材 「漢文必携 三訂版」 桐原書店
「漢文必携 三訂版 チェックノート 応用編」 桐原書店

授業の内容と進め方

教科書による授業においては、文法力・読解力・語彙力の錬成を行っていきます。さらに、問題演習を織り交ぜた授業展開を図り、問題解答の実践力を高めていきます。様々な問題形式に取り組む中で、文章内容を的確に素早く把握し、ポイントを押さえた解答を導き出せるよう習練します。また、文学史や古典教養などの学習を通じて、文化を理解し深めていく心を養っていきます。主に一学期は教科書中心に、二学期からは演習を中心に授業を展開します。

講座の到達目標

- 1、物語・随筆・日記・和歌・史伝など多くの文章に対して読解力を身につける。
- 2、古典文法や語彙、漢文句法を定着させ、国公立大学入試に対応した解答力を身につける。
- 3、日本・中国の古典に記された「時代の文化」を感じ取り、古典教養を身につける。
- 4、数多くの問題形式に触れ、その解法を学び、実践力を養う。

評価の観点・テスト・課題など

定期考査の結果を中心に、授業態度・小テスト・ノートや課題の提出状況などを加味し、総合的に評価します。小テストについては合格基準点を下回ることはないように、日々の学習を進めてください。また、各課題やノートの提出については、期限を厳守することを求めます。

備考

難関国公立大学・センター試験など各大学入試を念頭に置いた講習を、平日の放課後、長期休暇中に実施します。限られた時間を有効かつ適切に利用し、より高い目標到達を目指します。

授業の計画

| |
|---|
| <p>1 学期 学習計画および学習内容</p> <p>〈教科書内容・古文〉</p> <ul style="list-style-type: none">・沙石集 「歌ゆゑに命を失ふ事」・蜻蛉日記 「うつろひたる菊」・俊頼髓脳 「歌のよしあし」・無名抄 「深草の里」 <p>〈教科書内容・漢文〉</p> <ul style="list-style-type: none">・白居易 「長恨歌」・道家・法家の思想 韓非子 「侵官之害」 <p>その他、国公立対策・センター対策問題演習</p> |
| <p>2 学期 学習計画および学習内容</p> <p>〈教科書内容・古文〉</p> <ul style="list-style-type: none">・源氏物語 「須磨の秋」 (抜粋) <p>〈教科書内容・漢文〉</p> <ul style="list-style-type: none">・韓愈 「雑説」 <p>その他、国公立対策・センター対策問題演習</p> |
| <p>3 学期 学習計画および学習内容</p> <p>入試対策特別講座</p> |